

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 5月 1日

事業所名 放課後等デイサービス クリーむらさぎ

保護者等数(児童数) 20

回収数 20

割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	0%	0%	10%		各部屋ごとの人数制限、状況に応じた人数振り分け徹底。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	80%	5%	0%	15%		安心、安全第一を優先した配置、体制に努めています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	5%	0%	20%		設備の設置、必要性は児童状況考慮した上で対応します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	95%	0%	0%	5%		現場スタッフの視点、相談支援・保護者対話など全体的な情報をすい上げ反映しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90%	5%	0%	5%		時間制限、対応職員の選定、児童様子など状況により当日ごとに内容変更しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	25%	0%	50%		今後状況変化、児童負担にも配慮ができるよう判断と実施に繋げていけるよう検討します。(現状困難)
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	0%	0%	5%		重要事項での説明、個別の懇談の際、説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	95%	5%	0%	0%		コロナ禍、オンライン対応の中でできるだけ、状況に見合った方法で状況確認、理解できるよう懇談以外での送迎、電話対応も含めて対応していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	5%	0%	5%		定期的な面談、電話対応等、コロナ禍現状判断しながら行えるよう対応していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25%	5%	40%	30%		以前は音楽発表会や音楽参観等で関わる機会作りは設けていましたが、現状での対応は考えていません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85%	0%	0%	15%		今後とも迅速かつ適切な対応ができるよう努めていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	5%	0%	0%		状況報告、確認より今後もできるかぎり情報共有できるよう努めていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	0%	10%	15%		施設通信やHPで活動内容開示、定期的発信に努めていきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	95%	0%	0%	5%		今後も徹底管理に努めます。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85%	5%	5%	5%		保護者向けの簡易資料作成、配布周知できるよう検討実施できるよう努めていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	0%	0%	25%		利用人数、実施日の分散等整備し、実施できる回数も増やせるよう対応を図ります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	95%	5%	0%	0%		安心して楽しく通所できるように努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	95%	5%	0%	0%		少しでも「満足」につなげていけるよう努めていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。